

放課後等デイサービスすてら【支援プログラム】

事業所における基本情報	① 事業所名	放課後等デイサービスすてら
	② 作成年月日	令和7年3月1日 改訂
	③ 法人(事業所)理念	困り感に「寄り添い」、「受容・共感」し、「生きる力」を育む
	④ 支援方針	・子ども一人ひとりの困り感に寄り添い、私たち職員や地域の大人に見守られながら、ゆったりとした雰囲気の中で安心・安全に過ごせる時間・空間を提供します。 ・子ども一人ひとりの幸せを願い、ありのままを受け入れ、遊び（療育活動）を通じて共に学び、笑い、社会性や主体性などの「生きる力」を育みます。 ・保護者の悩みや子どもへの思いに寄り添い、必要とする支援やサービスを提案・提供しながら、子どもの日々の成長の喜びを共有し、見守って参ります。
	⑤ 営業時間	9:00～18:00
	(サービス提供時間)	放課後：下校時間～17:20、学校休業日：10:30～16:30
	⑥ 送迎実施の有無	あり（室蘭市全域 ※市外の方は要相談）
支援内容	⑦ 本人支援	放課後等デイサービスすてらは、本人主体の個別支援計画を作成し、5領域に基づく支援プログラムを組み合わせた活動を行っています。 （詳細は、「本人支援の五領域」をご参照ください。）
	⑧ 家族支援	送迎時等にご家庭や学校での出来事や日々変化する困り感、保護者様の子育てに関する悩みや葛藤を共有いただき、ご家庭や児童の現状を踏まえたサポートを行っています。また、保護者様の就労やレスパイト等による預かりニーズに対応するための延長支援、兄弟児に関する相談支援にも対応しています。 ご家族同士の交流機会として、年に数回の親子参加行事や保護者様向けの茶話会を行っています。
	⑨ 移行支援	高校卒業等で事業所を退所する場合や放課後児童スクール等への併行利用や移行を希望される場合においては、必要に応じて関係機関と情報共有を行います。また、児童が地域で安心して過ごせるよう、年齢や成長・発達を配慮しながら他の放デイやショートステイ等のサービスの併行利用を提案しています。
	⑩ 地域支援 ・地域連携	地域の社会資源を活用して公共施設等の見学や体験型の活動、まち「ピカ」活動等を行っています。今年度は地域イベントで「だがしやチャレンジ」を行い、初めての接客体験をしました。 また、学校や相談支援事業所向けに事業所見学を行ったり、地域の放デイネットワークや室蘭市自立支援協議会のこども部会に積極的に参加しています。
	⑪ 職員の質の向上に資する取り組み	経験年数等の受講条件を満たした職員には、上位資格を取得するためのサポートを積極的に行っています。また、行政機関主催の社外研修や提携療育システム主催のオンラインセミナーを活用して職員の質の向上に取り組んでいます。 日々の打ち合わせで職員間の情報共有や事例検討を行い、個々の成長・発達に応じて一貫性と連続性を意識した柔軟な支援を行うよう指導しています。
	⑫ 主な行事等	・季節行事（餅つき、豆まき、お花見、七夕祭り、ハロウィン、避難訓練等） ・社会見学・体験（消防署や水道局等の見学、まち「ピカ」活動、電車旅等） ・親子参加行事（すてらの参観日、果物狩り、スポーツレク、クリスマス会等）

本人支援の五領域

す て ら の 活 動 プ ロ グ ラ ム	ア. 健康・生活	・心身の健康状態の把握（来所時の体温測定、支援中の健康観察 等） ・生活リズムの安定（定時に行なう活動、長期休暇時の規則正しい生活の維持 等） ・構造化を意識した環境設定（絵カードなどを使った具体的な表示 等） ・基本的生活スキルの獲得（野菜の栽培やクッキングを通した食育や家事体験、買い物学習、トイレトレーニングや食事に関する支援等）
	イ. 運動・感覚	・体操や軽い運動（パンダ体操やサーキット遊びを通した体幹トレーニング 等） ・姿勢の保持（挨拶時などの姿勢指導や補助手段を活用した支援 等） ・リズム運動（音楽に合わせて体を動かす遊びや運動 等） ・感覚に特性がある児への配慮（イヤーマフの使用、個室利用などの環境設定 等）
	ウ. 認知・行動	・日付の把握や天気に関する認知の形成（日めくりカレンダーでの確認 等） ・時間に関する認知の形成（タイマーの活用、タイムテーブルの確認 等） ・物質の変化と感覚に関する認知の形成（粘土、スライム、水遊び 等） ・空間把握に関する認知の形成（ブロック遊び、ビー玉転がし 等） ・季節の変化への興味などの感性の形成（戸外活動、季節の散策 等） ・適切な行動の形成、認知の偏りへの配慮（環境設定、小集団でのゲーム 等）
	エ. 言語・コミュニケーション	・言語の獲得・聞く力の形成（絵本や紙芝居の読み聞かせ 等） ・言語の受容・表出支援（はじまりの会や終わりの会での発言機会 等） ・教材による読み書き（個々に合わせたワークなどを使った指導 等） ・言語に特性がある児への配慮（絵カードを使ったコミュニケーション支援 等）
	オ. 人間関係・社会性	・アタッチメントの形成（スキンシップ遊び、親子参加行事 等） ・他者との関りの形成（見立て遊びやごっこ遊び、レクリエーション 等） ・協同遊びへの支援（鬼ごっこなど役割のある遊び、ルールのある遊び 等） ・地域活動への参加（ゴミ拾い(まち「ピカ」活動 等） ・社会資源の活用（公共施設等での室内外活動(公園、図書館、足湯 等)、社会見学)

上記の他、土曜日営業時や長期休暇には、プール学習や体験学習、電車旅、のど自慢（カラオケ）、スノーアクティビティ体験などアクティブな活動を企画して余暇活動の充実を図っています。

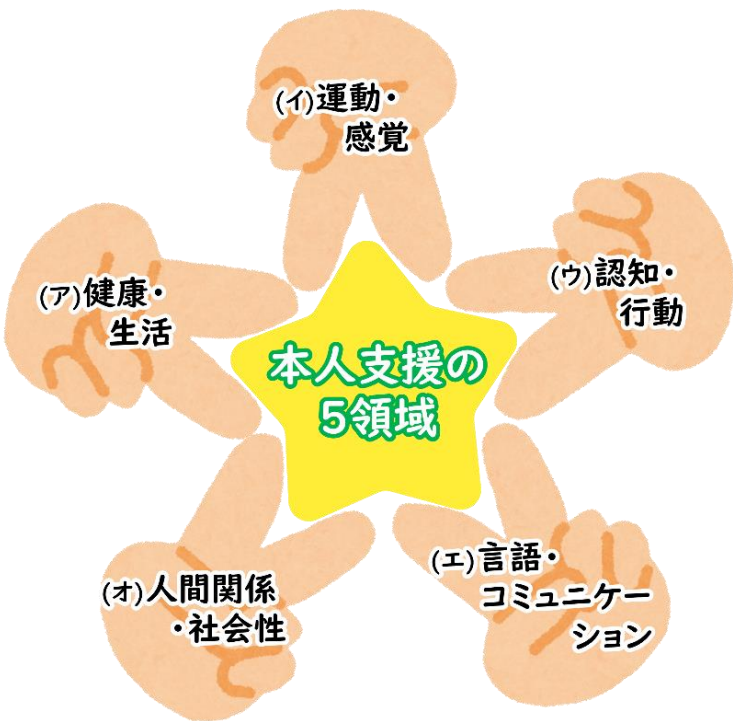
本人支援の5領域とは？

* . . . * . . . * . . . *

【本人支援】は、子どもの成長発達の側面から5領域にまとめられ、これらの支援内容はお互いに関連したり、重なりあっています。

本人支援の目標は、「子どもが将来、日常生活や社会生活を円滑に営めるようにするもの」です。

* . . . * . . . * . . . *



五領域	ねらい
(ア) 健康・生活	(a)健康状態の維持・改善 (b)生活のリズムや生活習慣の形成 (c)基本的生活スキルの獲得
(イ) 運動・感覚	(a)姿勢と運動・動作の向上 (b)姿勢と運動・動作の補助的手段の活用 (c)保有する感覚の総合的な活用
(ウ) 認知・行動	(a)認知の発達と行動の習得 (b)空間・時間、数等の概念形成の習得 (c)対象や外部環境の適切な認知と適切な行動の習得
(エ) 言語・コミュニケーション	(a)言語の形成と活用 (b)言語の受容及び表出 (c)コミュニケーションの基礎的能力の向上 (d)コミュニケーション手段の選択と活用 (e)コミュニケーション機器の活用
(オ) 人間関係・社会性	(a)他者との関わり(人間関係)の形成 (b)自己の理解と行動の調整 (c)仲間づくりと集団への参加